

9月1日は、『防災の日』。園では、年間計画に則り『地震・火災避難訓練』を行いました。初めての複合災害訓練でしたが、発災の報を聞いた子どもたちは、自分の命を守るために先ず行うべきことは何かを考えて、頭を守る「ダンゴムシポーズ」をとり、地震が収まるのを静かに待つことができました。その後の火災発生に際しても、いつも通り煙を吸わないように鼻・口をハンカチ等で押さえ、火元に遠い非常階段から速やかに戸外に逃げるといったイメージを持って行動することができました。（本施設は、2階の外周が回廊になっており、非常時には素早く回廊に出ることで、煙から身を守ることができる最適な環境であると、消防の方から評価していただいています。）

このように、私たちは毎月1回～2回、様々な避難訓練を行っていますが、今月は実際に2度の台風接近も経験しました。懐中電灯の準備やスマホの充電をしたり、非常食・水などの備蓄を確認したりといった台風対策は、各々が自然災害に対する“備え”を見直す良い機会になったことと思います。今後もご家庭と情報を共有しながら、自分や大切な人の命の守り方を実践を通して子どもたちに伝えていきたいと思っています。最後になりましたが、台風通過後の園の開所につきまして、施設内の安全点検にご理解いただきありがとうございます。ありがとうございました。

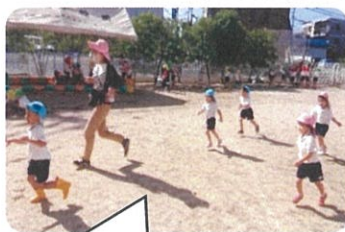
「姿勢保持」と「体幹」

去る6月10日。桜山中学校校区の認定こども園、保育園、小学校、中学校、特別支援学校が参加し、令和4年度、「第1回幼保小中連携情報交換会」がオンラインで開催されました。その中の「健康安全部会」で、黒髪小学校の先生から現状で気になることとして、○姿勢保持が苦手な児童が多い ○体幹が弱く、姿勢が保持できないという「姿勢の悪さ」が挙げられました。これは、黒髪小の多くの児童が課題と自覚しているものであり、1学期の「みんなのめあての振り返り(自己評価)」においても、最も低い評価となっていました。

園でも、座っているときに背中がぐにゃぐにゃして体が傾いたり、机に肘をつき顎を乗せたり、腕に寄りかかったりして座るといった状態のお子様を見かけることがあります。こうした姿は、「体幹の弱さ」とかかわりがあることから、私たちは、日ごろから体を支え姿勢を安定させる役割を持つ「体幹」を育むために、基本的な動作(歩く・走る・跳ぶ・ぶら下がる・投げる等)を基にした、様々な運動遊びで体を動かしています。今回の現状報告を踏まえ、就学前のお子様と生活される保護者の皆様にも、この機会にお子様とのかかわり方を再確認していただければと思っています。

- ◎思いっきり戸外遊びを楽しみましょう。(秋の休日、親子で広い場所を駆け回ってみてはいかがでしょう。)
- ◎運動遊びをしましょう。(ハイハイ・ケンケンパ・手押し車・おうまさん・鬼ごっこ・ボール遊び・なわとび等々)

親子で一緒に体を動かす機会を意識的に作り、子どもたちとのコミュニケーションを大切に、保護者の皆様ご自身が体を動かす楽しさを存分に味わうよう、引き続き心がけていただければと思います。



「先生を追いかけよう！」
みんなの笑顔が
はじけます。

様々な運動遊びを
楽しむ子どもたち



走る・跳ぶ・ぶら下がる
等の基本動作を大切に！

【編集後記】3年ぶりに年少・年中・年長組は、県立総合体育館で、また、0・1歳、満3歳、クロワッサン保育園のお友だちは、第一幼稚園の2階で「運動会」を開催いたします。ご家族の参加人数に制限があったり、学年で入れ替えがあったりと、コロナ禍以前の取り組みとは若干違うところもありますが、子どもたちが先生や友だちと力を合わせて一生懸命に頑張る姿を温かく見守り、たくさんの拍手を送っていただければと思っています。“運動って楽しい！”を子どもたちが実感できる一日となりますよう、保護者の皆様のご協力をよろしくお願いたします。
(子育て支援相談：北村)